

1. 目的

- 本年度改定している「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」の教材をつかった研修（試行）を通じて、受講者の観点から教材を評価していただき、改善に係る意見を収集する。
- 合わせて、本プログラムの利用促進のための周知の方法に関する意見を収集する。

2. 試行先

- 2件実施予定
- 文京区（依頼中）

3. 実施概要

| | |
|---------|---|
| 実施時期 | 令和3年2月又は3月上旬 |
| 所要時間 | 3時間程度（座学20分＋60分＝80分程度、ワークショップ90分程度） |
| 実施形式 | オンライン |
| 希望する対象者 | <ul style="list-style-type: none">・ 防災課並びに男女共同担当課及び男女平等センターに加えて、避難所運営や被災者支援を行う福祉部局及び保健部局、応急仮設住宅の建設等を行う建築課等・ 部長、課長、係長、主任主事及び新入職員等、幅広い職位の方 |

4. フィードバック調査の項目案

- 研修実施後、受講者に対して研修教材等の評価・改善意見を収集するフィードバック調査を実施する。
- 項目案 **【論点】受講者に聞く項目として、抜け・漏れはないか**

| | | | |
|---------------|---|--------------|--|
| 研修全体への感想 | <ul style="list-style-type: none"> ● 有意義さ（5段階評価） | | |
| 各セッションの目標の達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ● 各セッションで立てた目標の内容の理解（5段階評価） ＜セッション1＞ <ul style="list-style-type: none"> ➢ 防災になぜ男女共同参画の視点が必要なのか理解できたか？ ➢ 防災に関わるあらゆる施策に男女共同参画の視点を持って取り組むことの大切さを理解できたか？ ＜セッション2＞ <ul style="list-style-type: none"> ➢ 災害過程の各段階の主要な活動について、女性の視点を入れた活動ポイントを理解できたか？ ➢ ガイドラインを、平常時・災害時にうまく活用できそうか？ ＜セッション3＞ <ul style="list-style-type: none"> ➢ 自身の組織における具体的な取組を見つけ出すことはできたか？ ➢ ガイドラインを活用して、防災に係る取組を検討できるか？ | プログラムの周知方法 | <ul style="list-style-type: none"> ● 全国の自治体で本プログラムの利用を促進したいと思います。どのような周知方法だと、プログラムがあることが認識でき、使いたいと思えるか？（複数選択） <p>[県を通じて男女部局・センターに通知／県を通じて防災・危機管理部局に通知／県の実施する防災研修で周知／知事会や全国市長会を通じて告知／その他]</p> |
| セッション1／セッション2 | <ul style="list-style-type: none"> ● 話の分かりやすさ／講座の長さ／スライドの分かりやすさ（5段階評価） ● 具体的な改善点（自由記述） | 防災研修プログラムの活用 | <ul style="list-style-type: none"> ● どのような場面での活用が考えられるか？（複数選択） <p>[新任者研修／昇級研修／職層研修／防災訓練／所属部署で行う勉強会／その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● HPで見れる動画教材があると利用（視聴）するか？（単一選択） しない理由は？（自由記述） どうすると利用するか？（自由記述） ● ワークショップは自分達でもできそうか？（単一選択） できない理由は？（自由記述） どうすると利用できるか？（自由記述） ● 研修で活用できない・活用しにくい理由は何か？（自由記述） |
| ワークショップ | <ul style="list-style-type: none"> ● ワークの取り組みやすさ／ガイドラインの活用のしやすさ／講座の長さ／オンラインでの取り組みやすさ（5段階評価） ● 具体的な改善点（自由記述） | その他 | <ul style="list-style-type: none"> ● 研修全体を通じての感想、意見等（自由記述） |